

「高山市こども若者オンライン意見箱」の設置について

市ではこれまで、計画策定時におけるアンケート調査、出前授業を活用した対面での意見聴取、特定の案件に対する人気投票などにより、こども若者の意見聴取を行ってきた。

令和7年3月に策定した「高山市こども未来計画」においては、基本姿勢（重視すべき視点）の一つに「意見の反映」を掲げ、具体的にはオンライン意見箱の設置などに取組むこととしている。

令和7年8月の「高山市こども未来計画（こども用）」の策定に合わせ、市内こども若者を対象とした「オンライン意見箱」を設置、運用を開始し、合わせて周知や利用促進に取組むことにより、こども若者の意見を反映した市政運営を推進することとする。

1. 目的

(1) こども若者の想いを聴いて取組みに活かす 『現状把握と施策の磨き上げ』

当事者であるこども若者がどのように感じているか、どんなことを考えているかを把握し、アイデアを採用したり、施策立案や見直しに反映するなど施策の実効性を高める。

(2) こども若者の想いに応えることで社会参加を促す 『未来を担う人材づくり』

市に提出した自身の意見などに対する反応があった、施策に取り入れられたといった「成功体験」を得ることにより、こども若者の次回以降の意見提出、社会参加などの動機付けとする。

2. 名称など

○名称 高山市こども若者オンライン意見箱

○愛称 言え～る（いえ～る）

「意見を言える」 + 「（こども若者の想いを）応援する（エール）」の造語

○ロゴ



3. 対象者

○概ね小学1年生のこども～30代の若者

○交流人口の多い都市であることを鑑み、住所要件は問わない

4. 主な特徴

○事前登録などは不要、対象者は誰でも、気軽に、簡単に意見の提出ができる。

○意見を言いたい相手がある場合は選べるようにし、より相手に届くように配慮する。

○意見への回答、提案に対する検討結果などをフィードバックできる仕組みを組込む。

5. 運用開始

令和7年9月以降の早期

6. 周知啓発

各種広報媒体（デジタル含む）、出前授業、啓発グッズ など

＜参考＞ 設問（案）

(1) あなたの年代を選んでください。【必須】

選択肢
(選一) 小学1～3年／小学4～6年／中学1～3年／
高校生の年代（18歳の年度末まで）／その他の10代／20代／30代

(2) あなたの高山市との関係について、最も近いものを選んでください。【必須】

選択肢
(択一) 市内に住んでいる／市内には住んでいないが市内の学校に通っている／
市内には住んでいないが市内の会社に務めている／
それ以外（高山市に旅行に来たことがあるなど）

(3) この意見を言いたい人（相手）がある場合、誰に一番言いたいか選んでください。【任意】

特に相手がない場合は、回答せずに次へ進んでください。

選択肢
(選一) 高山市役所の職員（高山市長を含みます）／父又は母、両親／学校の先生／友達や同年代の人／地域の大人／その他（自由記述）

(注記) 出した意見が、直接、特定の個人に伝わることはありません。また、意見を一番言いったい相手が複数の選択肢に及ぶ場合は、分けて回答をお願いします。

(4) 意見を記入してください。【必須】

より暮らしやすい地域や生活環境にするためのアイデア、こういったことをしたいがサポートが欲しい、こども未来計画を見て感じたことや提案したことなど

※具体的な不安や悩みなどがある場合は、相談窓口からお願ひします。（リンク）

どこに相談して良いか分からぬ場合は、連絡先と相談内容を記入してください。

自由記述 こども 2,000 文字、若者 5,000 文字まで

(注記) 何らかの形で意見を公開する場合、個人情報は伏せて公開します。

(5) この意見に対し、高山市から回答が欲しい場合は、氏名を記入し、回答の受取り方法を選んでください。【任意】

氏名

氏名入力 100 文字まで

回答の受取り方法

選択肢（択一） 電子メール（アドレス入力）／こども未来部窓口（高山市役所1階）への掲出／市のHPへの掲載

(注記) 原則1か月以内に回答しますが、内容などによっては希望に添えない場合があります。同じ主旨の意見が多く出された場合は、まとめて「市のHPへの掲載」により回答とする場合があります。

(注記) 回答を希望しない場合でも、同様に「市のHPへの掲載」により、個人が特定できる情報を除いて、公開することを想定しています。

備考

○小学生以下の回答者には、こどもにも分かりやすい言葉遣いになるよう調整します。

○特定のテーマ（例えば、こども若者に関する施設整備）を設定し、テーマに関する意見を募集するといったケースも想定しています。